



うそ電話詐欺防犯情報

『元号改元による更新手続』名目のオレオレ詐欺に要注意!



県内では金融機関職員を装って、『元号改元によるキャッシュカードの更新手続』などといって高齢女性からキャッシュカードを騙し取る手口の被害が発生しています。

その後、犯人は、同カードで現金を引き出しています。

下記の事例を参考にして、被害に遭わないように注意してください。

二セ金融機関職員



【被害事例】

犯人は、被害者宅の固定電話に「〇〇銀行の者です。」と電話を架け、

- ・ 元号が変わるのでキャッシュカードの更新手続が必要ですよ
- ・ キャッシュカードはありますか？
- ・ キャッシュカードの暗証番号は？
- ・ 今から、手続のためキャッシュカードを取りに行きます

などと話をして、自宅訪問することを告げました。

その後、被害者は金融機関のキャッシュカードを準備し、自宅を訪問した男に手渡しました。

犯人は、騙し取ったキャッシュカードを使用して口座から現金を引き出しました。

【その他キャッシュカードに関連して想定される事例】

- ① 全国銀行協会などを装って『元号改元による銀行法改正』の封書を送りつけ、同封した書類に『金融機関名』『支店名』『口座番号』『暗証番号』を記入させ、キャッシュカードと併せて返信用封筒で郵送させ、受け取った同カードでお金を引き出すもの
- ② 警察・金融機関職員などを装って『あなたの口座が不正利用されている』『手続のためキャッシュカード・暗証番号のメモを預かる』などといってキャッシュカードを騙し取り、同カードで現金を引き出すもの

【注意点】

金融機関では元号改元に伴うキャッシュカードの手続はしていません。また、金融機関職員等がキャッシュカードを預かったり、暗証番号を聞くことはありません。

最新の手口を事前に知っておくことは大切ですが、このように犯人からの電話を受けたり、被害に遭わないために「不審電話を受けないための対策」・「不審電話を受けた場合の対策」について考えてみましょう。

『不審電話を受けない対策』

- ① 優良防犯電話（迷惑電話防止機能付電話機）への変更
※スマートフォンの優良防犯電話もあります。
- ② 留守番電話に常時設定し、相手を確認してから通話する
- ③ 固定電話からスマートフォン・携帯電話への変更
※但し、ショートメール等を悪用とした架空請求詐欺のメール等には注意が必要。
- ④ 固定電話の電話番号変更

『不審電話を受けた場合の対策』

『個人情報』を聞き出したり、『お金』に関する電話を受けた場合は、すぐに最寄りの警察署へ相談しましょう。

